



ジュリア・ギラード
オーストラリア首相

「パートナーであり友達」

日豪経済委員会主催昼食会

2011年4月21日

大変な歓迎を受けまして有難うございます。日豪経済委員長三村明夫様、豪日経済委員会サー・ロッド・エディントン様、長年に亘る豪日経済関係に大変ご尽力を賜りまして大変感謝しております。ご出席の日豪・豪日経済委員会の多くの会員の皆様、両国の関係の緊密化へのお力添えにお礼申しあげます。また、経済界を代表する多くの方々や今日ご出席のオーストラリアから日本に赴任しておられる方々にお礼を申し上げます。

両経済委員会は私たち2ヶ国の経済関係の強化に多大な貢献をされてきました。この経済委員会のメンバーの貿易は両国間の貿易総額の4分の3にあたります。また、両国の経済関係のために優れた多くのアイデアを報告されています。この良い一例がインフラ開発金融における官民パートナーシップという先駆的事業です。

両経済委員会は数十年に亘り多くの事業を成し遂げました。単なるビジネス・パートナーだけでなく友人として、両経済委員会は私たちオーストラリアと日本の最良な関係を示す模範となっています。

日本は再興する

2011年は友好関係が嘗てないほど示された年でした。

オーストラリアでの夏の自然災害に対する日本国民の思いやりと援助に深く感謝しております。その後、私たちの災害が小さく思われるほどの3月11日の災害に非常に大きな衝撃を受けました。

私たち全員、3月のあの忌まわしい日に皆様に思いを寄せていましたし、今も思っています。今日ここにおられる多くの方々は、それ以来、個人的にも職業的にも家庭や仕事で辛い日々を送られたと思います。私は日本が再建すると信じています。皆様は決して一人ではないのです。

震災の直後にオーストラリアは援助に向かいました。都市捜索救援隊は、東京のオーストラリア大使館員やオーストラリア政府関係者の手伝いを得て、南三陸町の被災地で生存者の救出を展開しました。オーストラリアは赤十字に1千万豪ドルを寄付し、重量物運搬飛行機を遣わせて湧水機器、緊急援助物資、人員や資材を輸送いたしました。

多くの仕事がオーストラリア、日本、米国の間で緊密な協力によって行われたことは3ヶ国間の防衛協力の真価だと思います。

この災害の真只中に、オーストラリア人は、日本人が驚くほど勇敢で、冷静で、結束していることに強く感銘し、身の引き締まる思いです。最もつらい時に結束すると言うことは世界のあらゆる国の見本となります。これはなぜ日本が世界の主要国の一国であるかを物語っています。

皆様が毅然としておられます。皆様が日本をこの暗い日々から抜け出させる力を持っていると私が確信していることを、是非皆様に知って頂きたいと思います。誰も日本が直面している課題の大きさを蔑ろにすることはできません。あなた方は亡くなられた方や行方不明の方を深く悲しまれています。しかし、日本は多くの傷ついた心の故郷なのです。幾万の方々に苦難と混乱が続きます。インフラ、交通、エネ

ルギー、通信への影響は甚大です。しかし、この災害による人的、経済的影響は甚大ですが、勇気と資源と貯えは遥かにそれを超えています。

皆様の復旧力、回復力、復興力や刷新力、適応力は今こそ役に立つのです。オーストラリアは日本が再興し、以前よりも強くなると思っていることを、お分かり頂きたいのです。私たちの友情と経済関係は以前よりも強くなることを確信しています。

オーストラリアの強い経済

今日、私たちの思いは喪失を悼む皆様とともにあることを申し上げたいと思います。そしてまた、日本の再興中や、再興の後に、私たちは共に両国の経済関係に新しい活力を吹き込むことができると思っていることもお伝えしたいのです。

オーストラリアの発言は背景に力強い経済を擁しています。世界金融危機の時、オーストラリアは不況に陥りませんでした。長年の経済改革、国際レベルの金融システム、効率の高い財政・金融刺激策や、とりわけ、景気悪化の下で雇用の確保をするために一緒に作業をした創造力と自信に満ちた人々の努力のお陰で恩恵を受けました。

勿論、オーストラリアの改革はまだまだ完成したとは言えません。私たちは改革を推進し、クリーン・エネルギー、高速ブロードバンド、統合性のある経済、労働力の増加や職業技術の向上等を推進していきます。

これは日本にとってもよいニュースです。私たちは、友人間のパートナーとして日本がオーストラリアと経済面で関わることを歓迎いたします。

経済関係

オーストラリアの力強い経済は国民の雇用を増やすのみならず、貿易でのビジネス機会を増大し、世界の投資家に豊かさをもたらします。日本からの投資はオーストラリアの力強い経済発展にとって重要です。

両国の貿易は 19 世紀に遡り、オーストラリアは日本に羊毛を輸出し、日本の真珠貝採り潜水作業員、サトウキビを採る人、貿易商人の多くが北オーストラリアで働きました。

しかし、私たちの現在のパートナーシップと友情の基礎は、1957 年にブラック・ジャック・マキュエン貿易大臣と岸首相によって調印された日豪通商協定です。この協定は、未来や両国民の長期に亘る利益を志向する両国の先見性に基づいた経済改革であり、英断でした。

この通商協定は貿易と投資の強い成長へ向かって、長年に亘る道を築きました。オーストラリアにとって、日本は 40 年以上に亘る最大の輸出市場でしたし、今なお第 2 番目の輸出先で、第 3 位の輸入先です。2009 年までの日本からオーストラリアへの累積投資は 1 千億豪ドルを超えています。実際、日本からのオーストラリアへの直接投資は、世界経済不況にもかかわらず、2008 年から 2009 年に増加しました。

多くのビジネス機会が更にあります。これは、政策における改革だけではなく両国経済の補完性が深く揺るぎないからです。

全体として、オーストラリアは日本へのエネルギーの最大輸出国であり、このことにより日本が工業製品の重要な輸出国であることに貢献しているのです。向こう数年に、オーストラリアは、すでに日本に対して石炭や鉄鉱石の主要な供給国であります。LNG の最も主要な供給国ともなるでしょう。日本はこの艱難な時期にオーストラリアを信頼できる供給国として引き続き信頼することができます。

また、私たちは、日本に対し高度生産に不可欠なレアメタルの安定した、信頼できる供給国となることを公約します。

勿論、麵を作る小麦、ビールを作る大麦、蕎麦を作るそば粉や楽しく召し上がって頂いているオーギービーフのような、クリーンで、持続性のある農産物は日本人の生活にとって極めて重要です。

また、個々の日本やオーストラリアの企業は、研究開発へ多くの投資を行い、強い世界的志向を持った、最先端で革新的仕事をされています。これらの企業は私たちの貿易関係の高度化に貢献しているのです。

例えば、ビジネス サービスを提供する「チーム・マネージメント・システムズ」

(**Team Management Systems**) は日本の多くの金融会社に社内教育を行っています。メルボルンに拠点を持つバイオ企業「ミモトープス」 (**Mimotopes**) は幾つかの日本の大学や製薬会社と共同で仕事をしています。タスマニアの農業関係会社は「佐藤錦」 さくらんぼを特に日本の市場に向けて育てています。

日本は震災や津波から復興するために、インフラの再構築が重要な焦点となり、そのための資金確保が主要な関心事となると思います。過去 2 年間に、日豪・豪日経済委員会がインフラ金融や特に官民パートナーシップ (**PPP**) の恩恵を追求してきたことは時宜に叶ったものと言えます。3月7日、ちょうど震災が起こる前に、オーストラリアと日本の官民代表者によるインフラ問題に関する新たな官民政策対話が初めて開かれました。

貿易自由化と自由貿易協定

両国の経済連携は双方にとって有益です。オーストラリアと日本は貿易大国です。貿易は私たちの経済における雇用を意味しています。そして、よい仕事とは私たち国民の健全な生活を意味しています。私は、オーストラリアと日本が両国のみならず、地域や世界の国々に開かれた国になっていくことに共に取り組まなければならないと思っています。

私たちの 2ヶ国間の自由貿易協定 (**FTA**) は 2003 年以來の懸案事項であり、2007 年から交渉が続いています。包括的協定により日本の消費者が質の高い品物をより多く入手できるようになります。また、日本の製造業は高品質の日本の製品をオーストラリアで販売する新たな機会を得ることになり、両国の企業がお互いに増大する投資機会から利益を得ることになります。これは、商品貿易のみでなく、サービス分野でも然りです。

また、FTA を成功裏に締結することは、TPP（環太平洋戦略的経済連携）に日本が参加することを考える上で有効であり、日本が地域や世界経済の統合に向かって新たなステージへの道を開くこととなります。菅総理や私はこの非常に重要な自由貿易協定の締結に全力を尽くします。

私は、2010年11月に日本政府により発表された「包括的経済連携に関する基本指針」において、より多くの貿易を促進するために開かれた日本を目指すという新たな政策を歓迎いたします。オーストラリアは、この政策が日本にとって歴史的、本質的に非常に重要な新しい政策であり、世界経済における将来の日本の役割にとって極めて重要であると考えています。

私たちの二国間自由貿易協定交渉は貿易や成長を促す唯一の方法ではありません。私たち双方とも、G20,WTO ドーハ・ラウンド貿易交渉、APEC 地域経済フォーラムにおいて、世界や地域での取り組みに積極的に参加しています。

金融危機の最悪の影響が沈静化しつつある中で、G20 は将来に向かって持続可能でバランスのとれた成長を維持するために重要な役割を果たす、主導的な多国間経済の枠組みとなっています。

また、私は、G20 を含めて、日本や他の国々と協力し、ドーハ・ラウンドの妥結に向けてあらゆる努力を行います。オーストラリアと日本は共にドーハ・ラウンドの成功を堅く支持しています。私たちは共にドーハ・ラウンドが極めて重要で、世界貿易の課題が後退すべきではないと考えています。何とかして、2011 年内にドーハ・ラウンド交渉を終結させるべきです。オーストラリアは日本と協力し、ドーハ・ラウンド交渉終結を目指したいと思います。

安全保障と繁栄

もちろん、私たちの緊密な関係が繁栄をもたらし、オーストラリアと日本は地域や世界の繁栄のために貢献していますが、また、私たちは地域や世界の安定、安全保障にも貢献しています。

私たちの経済関係と同様に、オーストラリアと日本は共に、地域の東アジア・サミットのような枠組みで他の共通の課題に取り組んでいます。世界平和と安全保障のために国連の共同作業を通じて、例えば、北朝鮮の核問題を重要課題として緊密に協力し、問題の対応にあたっています。

友として共に作業し、前進のために共に作業しているのです。

おわりに

私たちは自然災害の破壊的威力を克服するために一丸となって取り組みます。

日本は再建します。オーストラリアは友として応援します。私たちは日本の国民を誇りに思い、日本の将来に強い自信を持っています。この厳しい時期を乗り越えた時、両国の経済関係は疑いなくかつてないほど強くなっているでしょう。

今日、私はこの偉大な国を訪れています。日本が国民の繁栄を追求するために将来を見据えて改革の道に進むことを堅く決意していると信じています。

私は夢や志を分かち合う心強いパートナーとしてここに来ています。

私が心からの友としてここにおりますのは、皆様が築く未来は私たちが共有できるものであるからです。

ご清聴、有難うございました。